

TALON Tips

< 1 回の実行で複数のテーブルにデータを更新する >
(プロシージャ)

株式会社 HOIPOI

第 1 . 2 版

1 目次

1	目次.....	2
2	はじめに.....	3
3	Tips セットアップ.....	4
3.1	事前準備.....	4
3.2	事前準備 2.....	4
3.3	セットアップ.....	4
3.4	セットアップ (その他).....	5
4	Tips 概要.....	6
4.1	概要.....	6
4.2	処理フロー.....	7
4.2.1	処理フロー.....	7
4.2.2	処理内容.....	7
4.3	構築のポイント.....	7
4.4	サンプル機能.....	8
4.5	構築方法.....	8
4.5.1	TALON 機能の構築.....	9
4.6	利用 TALON 機能.....	10
5	改版履歴.....	11

2 はじめに

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310_TALON_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300_TALON_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認くださいよう願いたします。

補足

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
 - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
 - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
-

<注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

3 Tips セットアップ

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

3.1 事前準備

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

3.2 事前準備 2

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

3.3 セットアップ

下記セットアップを実施してください。

No.	実施有無		
1	○	スクリプトパッチの適用	
2	○	機能のインストール	Tips 番号 : 0007 (リポジトリデータ : TLN_TIPS_0007)
3	○	機能のセットアップ	Tips 番号 : 0007
4	○	機能利用権限の付与	Tips 番号 : 0007
5	×	DocRoot ファイルの 配備	
6	×	その他	

3.4 セットアップ（その他）

当 Tips はその他の作業はありません。

4 Tips 概要

4.1 概要

1回の確定処理で、複数のテーブルの更新を実施します。

データ入力後、確定ボタンを押下することで、仕入データと、在庫データの更新が実行されます

確定後、在庫照会画面を参照すると、在庫データが変更されていることを確認できます。

TIPSS0005_仕入登録

検索条件 起動時の初期条件にする 保存 閉除

仕入番号 0001

A 4縦 PDF出力 在庫照会 クリア Excel出力 検索

仕入ヘッダ 項目

仕入日 2017/03/21 仕入業者名 仕入業者

仕入明細 項目 1 50 検索結果: 2件

	商品コード	商品名	仕入数量
参照 複写 削除	ITEM_A	商品 A	11
参照 複写 削除	ITEM_B	商品 B	10

TIPSS0005_在庫照会 閉じる

検索条件

A 4縦 PDF出力 クリア Excel出力 検索

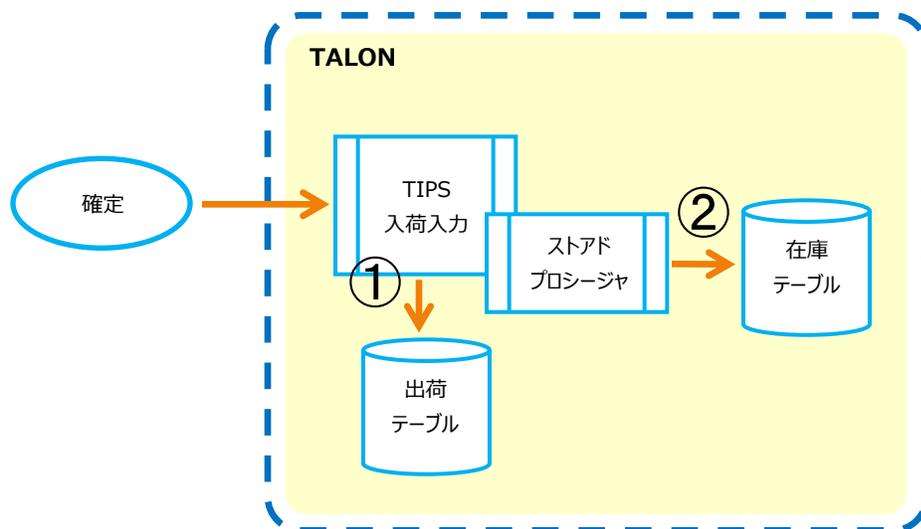
項目 1 50 検索結果: 2件

	商品コード	商品名	数量
参照	ITEM_A	商品 A	150
参照	ITEM_B	商品 B	150

ファイルを選択 選択されていません

4.2 処理フロー

4.2.1 処理フロー



4.2.2 処理内容

- ① 利用者による確定により、通常の TALON の処理を実施。
- ② 通常の処理を実行後、プロシージャを呼出し、処理を実施。

4.3 構築のポイント

- ① 最初の処理は通常の TALON の機能にて実施します。
- ② TALON の「**プロシージャ名(処理後)**」機能を利用することで、TALON 処理が完了したタイミングで実行する処理をコーディングすることが可能です
それにより、更新内容を元に複数のデータベースに更新を行うような仕組みを構築することが可能になります。

4.4 サンプル機能

➤ TALON、TALON 関連機能

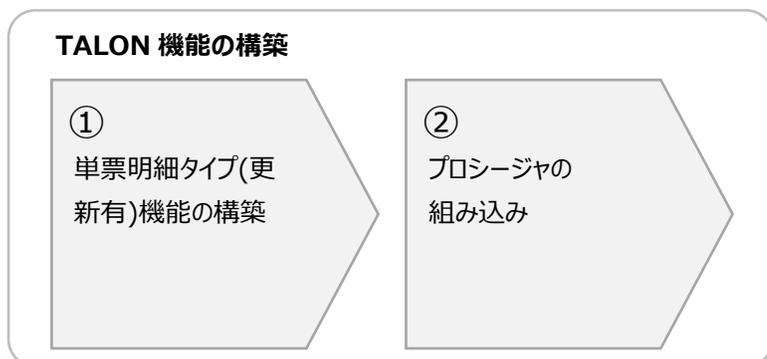
関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0007_仕入登録	TALON	TLN_TIPS_0007_PURCHASE
TIPS0007_在庫照会	TALON	TLN_TIPS_0007_ZAIKO_LIST
TIPS0007_仕入検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0007_PURCHASE_LIST
TIPS0007_商品検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0007_ITEM_LIST

➤ データベース関連

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0007_仕入テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0007_PURCHASE
TIPS0007_仕入明細テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0007_PURCHASE_DTL
TIPS0007_在庫テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0007_ZAIKO
TIPS0007_商品マスタ	TABLE	TLN_TIPS_0007_ITEM_MST
TIPS0007_在庫更新処理	プロシージャ	TLN_TIPS_0007_PROC

4.5 構築方法

<機能構築の流れ>



① 単票明細タイプ（更新有）機能の構築

サンプル：仕入登録機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[単票明細メンテナンス機能の構築](#)」を参照してください。

② 処理後 JavaScript エンジンの組み込み

※ 他機能呼出の設定については機能構築マニュアル「[プロセス](#)」を参照してください。

Point ブロック設定の処理後プロセスに実行するプロセスを設定する

ブロック設定の処理後プロセスを設定することで、ブロックのレコードの処理が終了したタイミングで、指定プロセスが実行されます。



確定時オプション	<input checked="" type="checkbox"/> 排他制御	<input type="checkbox"/> 全件を対象にする	確定後のメール送信
JavaScript(処理前/後)	設定 / 設定		
プロセス名(処理前/後)	[] / TLN_TIPS_0007_PROC		
検索結果 0 件メッセージを非表示	<input type="checkbox"/>		

仕入番号
商品コード
商品名
仕入数量
(変更前仕入数量)
CREATED_DATE
CREATED_BY
CREATED_PRG_NM
UPDATED_DATE
UPDATED_BY
UPDATED_PRG_NM
MODIFY_COUNT

Point プロシージャの引数の設定方法

ブロックの処理前、処理後のプロシージャでは、下記引数構成での作成が必要となります。
(XXXXX は画面項目 I D)

```
CREATE PROCEDURE `TLN_TIPS_0007_PROC` (  
  IN `i_PROC`          VARCHAR(100)  
  , IN `i_UPDCD`       VARCHAR(100)  
  , IN `i_UPDPG`       VARCHAR(100)  
  , IN `i_INDEX`       VARCHAR(100)  
  , IN `i_IS_LAST`     VARCHAR(100)  
  , IN `i_IS_BEFORE`   VARCHAR(100)  
  , IN `i_XXXXX`       VARCHAR(100)  
  , IN `i_XXXXX`       DECIMAL(10)  
  , OUT `o_ERR_FLG`    TEXT  
  , OUT `o_SQLERRCD`   TEXT  
  , OUT `o_SQLERRM`    TEXT  
  , OUT `o_BG_MSG`     TEXT  
)  
BEGIN  
  . . . . .
```

※上記は MySQL での記述となります。

4.6 利用 TALON 機能

- 6.2 プロシージャ > 6.2.3 登録・更新・削除の前後にプロシージャを呼び出す方法

5 改版履歴

日付	版数	内容
2017/04/01	第 1.0 版	初版
2018/07/10	第 1.1 版	TALON Ver4.1.5 に対応しました。 ※当 Tips はプロシージャ使用の為 PostgreSQL に対応していません。
2019/06/01	第 1.2 版	TALON Ver5 に対応しました。